



「温度補正」 考えて見ませんか？

長さ測定の標準温度は20℃

その実現手法の一つとして温度補正があります。
今や1クリックで簡単に操作できる測定機も多数。

簡単であるがゆえに...
その「背景」「補正残差」は大丈夫？

「最も正確な人とは最も正確な温度計を持っている人のことである。」なんて格言があるくらい。

精密な長さ測定をしていると「長さを測っているのか？温度を測っているのか？」
被測定物の呼吸が見え、どちらを測っているのか？考えさせられることがあります。

<p>例題：CMM</p> <p>1クリックで補正出来る 背景には様々な因子が隠れています。</p>	<p>駆動用モーターなどの「熱源」？</p>
	<p>スケールの熱膨張係数は？</p>
	<p>圧縮空気の温度影響？</p>
	<p>温度分布？</p>
	<p>被測定物の形状？</p>

etc...

精密な長さ測定を実施するには、外乱を知り、排除し、補正検討を実施する。
補正実施後も補正をしたから0ではなく、補正残差を見切っておく。
「温度補正、操作は簡単になりましたが、とても難しく面白い要素です。」

南谷製作所には、精密な長さ測定を実施できる「設備と技術」があります。

「精密長さ測定」お気軽にご相談ください。